

【概 要】

令和 6 年 1 月 15 日 (月) に、第 7 回 SSH 国際交流講演会が行われ、1 年生 13 名、2 年生 45 名、計 58 名が参加しました。講師は東北大学大学院農学研究科の Cheryl Lynn Ames 教授で、“The Journey to Your Dream: It’s Up to You!”という演題で、約 1 時間英語で講演をしていただきました。

【講演内容】

まず、先生の生い立ちについて紹介していただきました。

Cheryl Lynn Ames 先生は、カナダの小さな町で生まれ育ち、とても伝統のあるクイーンズ大学に進学しました。初めは美術を専攻したそうですが、科学への未練を捨てきれず、その後専攻科目を生物学に変更しました。そして、脳がないにもかかわらず生きているクラゲに興味を持ち、研究の対象としました。

クラゲを専門に研究を続け、琉球大学やアメリカの大学、そしてスミソニアン研究所といった世界各地の研究機関を経て、現在は東北大学で研究を行っています。



次に、研究の内容について紹介していただきました。

琉球大学でクラゲの研究を始めて間もないころ、ハコクラゲの一種ヒメアンドンクラゲ(Copula sivickisi)の独特な求愛行動を世界で初めて発見しました。二度学会誌の審査に落ちましたが、三度目ようやく掲載されて世界的にその業績が認められた時は、とても嬉しかったそうです。

現在は、eDNA (Environmental DNA) に着目して研究を行なっています。eDNA は水や土壌、空気中に含まれている様々な生き物の DNA のことで、これを調べることで、その地域にどんな生物がいるかを一度に調べることができます。この技術によって、目に見えないクラゲがどこにいるのか突き止めることが可能になるため、人々をクラゲの毒から守るのに役立ちます。将来の目標は、天気予報のように、リアルタイムでクラゲの危険度を示すことだそうです。また、東北のタコ漁にもこの技術を応用することを試みているそうです。このように科学を社会に結びつけることがとても大切だということを、先生は強調されていました。

講演の最後には、将来を担う私達へのメッセージをいただきました。

「自分や社会がどうなっていくかは、自分次第です! It’s up to you !」

Q. カナダのクイーンズ大学に在学中、途中で専攻を美術から科学に変えたとき何か不安のようなものは感じましたか

A. 高校生の時、私は科学と美術の両方を専攻していました。大学でどちらを学ぶか悩みましたが、美術の方が募集人数も少なく応募が大変だったため、難しい美術分野の方に挑戦することに決めました。しかし、大学在学中に科学を学びたくなり、美術は趣味で続けられると考え、科学に専攻を変えました。それまでの友人と会えなくなってしまうことが心配でしたが、友人関係はその後も継続でき、科学分野でも新しい友人を作ることができました。絵の技術は、生物の研究する際に図を描くのに役立っており、正しい選択をしたと思っています。何か興味があるものがあれば、あきらめず、まずは難しいものから挑戦してみてください。

【生徒の感想】

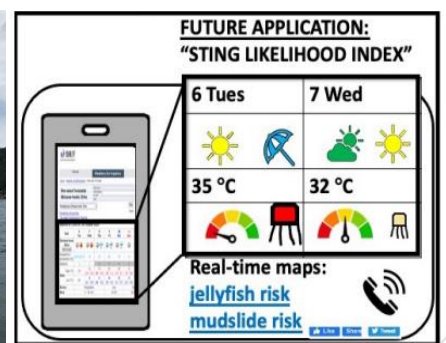
今日の講義を受けて、eDNAを使った生態系の種の判別について興味がわいた。先生の将来の目標である、クラゲの種類や危険指数をリアルタイムで知ることができる検出アプリシステムの実現ができれば、とても便利で、多くの命を救うことができると思った。素人では目の前にいる動物の種類や特徴はわからない。研究が進み早く使えるようになればと感じた。機会があればeDNAについて調べ、知識を深めていきたいと思う。

今、自分が将来について悩んでいることに対してとても参考になるような内容だった。より将来に対して目標が明確になり、非常に有意義な時間を過ごすことができた。今後もいろいろなことに挑戦していきたい。

先生の「大学生の時、途中でコースを変更したときは心配な気持ちがあったが、難しさより自分の興味や意思を尊重すべきだと思った」という言葉を聞いて心を動かされた。自分は今、進路でとても迷っているが、第一に自分のやりたいことを貫こうと思った。

自分が楽しいと思うことをあきらめずに続ける、難しいことにも取り組む、という言葉が印象に残った。今回、教授の話聞いて、今自分が興味を持っていること、やりたいことを大切にしたいと思った。私は今、具体的な将来の夢はまだ決まっていなくても、選べる道はたくさんあると思って、難しいことにも積極的に取り組みたいと思った。

講師の方が比較的ゆっくり、わかりやすい英語で聞き取りやすく話してくれたこともあるが、以前受けた講演会よりも格段に講義内容をよく理解することができた。人生について、目標まではまっすぐでなくても継続できると聞き、簡単にあきらめたりしないで自分の目標に向かってぶち当たっていききたいと思った。



【編集後記】 Cheryl Lynn Ames 教授の講演は海洋生物についての専門的な内容だけでなく、私たちの今後の人生での選択についても役に立つ内容もありました。自分の興味を持ったことと好きなことに取り組む姿勢は、私たちにとって参考にすべき考えだと感じます。